

VI. 海外教育旅行情報

新型コロナウイルス感染症の世界的流行（パンデミック）により、2020（令和2）年度同様、2021（令和3）年度も海外への修学旅行は閉ざされた。本調査開始時（令和4年4月）においても、海外修学旅行をはじめ、海外への教育旅行実施には様々な課題を抱えたままでの実現に向けた準備を余儀なくされている。2022（令和4）年度海外修学旅行実施に関する情報を纏めた。

「海外教育旅行」… 海外修学旅行、海外研修旅行（語学、ホームステイ、学科の特性など）、留学等を対象とする。

（1）2022（令和4）年度 公私立高等学校 海外修学旅行実施予定校数・生徒数

令和4年5月1日時点において、令和4年度に海外修学旅行の実施を予定している学校数並びに参加生徒数を調査した。コロナ前（2018年度）の海外修学旅行実施状況を参考値として掲載した。

都道府県	公立				私立			
	2022（令和4）年度実施予定		【参考】2018（平成30）年度実施		2022（令和4）年度実施予定		【参考】2018（平成30）年度実施	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
北海道	5	443	11	1,303	5	—	13	1,077
青森県	0	0	5	171	1	25	4	155
岩手県	1	39	2	202	2	119	4	215
宮城県	5	425	6	658	2	880	10	1,074
秋田県	3	177	6	180	0	0	3	473
山形県	9	984	8	790	2	18	7	760
福島県	2	435	2	386	15	3,286	10	1,808
茨城県	3	554	3	710	0	0	15	4,410
栃木県	0	0	1	154	6	328	5	356
群馬県	0	0	5	900	1	30	8	1,421
埼玉県	0	0	10	2,536	0	0	29	11,296
千葉県	0	0	8	2,097	11	2,422	26	5,632
東京都	2	278	26	5,965	—	—	63	10,340
神奈川県	5	1,332	17	3,647	—	—	32	6,330
山梨県	1	56	2	163	11	3,013	6	1,031
新潟県	0	0	9	1,288	2	163	9	2,317
長野県	0	0	7	1,501	0	0	5	823
富山県	8	289	6	381	3	281	5	446
石川県	0	0	2	747	2	501	5	955
福井県	0	0	—	—	0	0	1	121
岐阜県	0	0	—	—	0	0	10	1,337
静岡県	3	—	32	5,154	11	1,840	22	3,777
愛知県	1	40	13	2,013	—	—	27	3,407
三重県	0	0	—	—	—	—	3	418
滋賀県	0	0	12	3,253	4	941	8	1,734
京都府	11	1,891	21	3,387	—	—	12	2,868
大阪府	5	1,161	38	10,811	21	6,585	54	13,020
兵庫県	—	—	29	6,210	—	—	22	4,053
奈良県	1	224	3	587	4	541	8	1,243
和歌山県	0	0	2	550	0	0	4	377
鳥取県	0	0	2	468	2	229	3	211
島根県	0	0	6	210	0	0	—	—
岡山県	0	0	13	899	8	2,225	11	1,174
広島県	17	1,936	33	3,785	—	—	11	1,273
山口県	1	71	2	146	4	396	6	217
徳島県	0	0	—	—	0	0	—	—
香川県	—	—	3	198	2	54	1	30
愛媛県	7	208	14	617	2	284	7	483
高知県	0	0	1	35	0	0	2	122

都道府県	公 立				私 立			
	2022（令和4）年度実施予定		【参考】2018（平成30）年度実施		2022（令和4）年度実施予定		【参考】2018（平成30）年度実施	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
福岡県	13	2,599	31	6,045	—	—	19	3,445
佐賀県	0	0	1	60	3	507	3	194
長崎県	8	1,301	7	1,612	6	672	5	1,054
熊本県	2	595	8	1,804	0	0	6	289
大分県	3	260	5	992	2	117	4	609
宮崎県	5	149	10	539	2	71	7	643
鹿児島県	2	70	3	310	4	155	5	388
沖縄県	15	2,190	15	1,588	0	0	2	423
合 計	138	17,707	440	75,052	138	25,683	522	93,829

「—」は不明及びデータなし。

令和4年5月1日時点の調査において、2022（令和4）年度海外修学旅行実施予定校は、公立高等学校138校17,707人、私立高等学校138校25,683人。コロナ前（2018年度）との比較では、校数比で公立が31.4%、私立が26.4%。人数比は公立が23.6%、私立が27.4%であった。

コロナ前の状態にはまだまだ遠いが、再開、回復に向かう兆しが見える。コロナ禍が続く中、3年間の空白を経ても、海外修学旅行実現に向けて前向きに取り組む教育現場の努力が推察される数値である。

5月1日時点での情報提供のため、その後実施に至ったかどうかは、次年度の調査結果となる。

（2）海外教育旅行実施に向けた各校の考え方（抜粋）

- ◎研修候補国（オーストラリア）では、感染リスクを最小限にするため、多くの観光客が集まる都市部を避ける。研修規模や参加人数の縮小も考える。
- ◎3月の春休み期間中に約2週間の研修（イギリス）を検討。円安の影響により費用が高くなるかもしれないが、前向きに実施の方向で進めたい。
- ◎外務省感染症危険度レベル及び世界情勢による燃油サーチャージの高騰を踏まえ、生徒の安全の担保とキャンセル料金が発生しない段階で実施の可否を決定する。
- ◎強く海外研修を希望する生徒、保護者には、個人でその経験が出来るよう数社のプログラムを紹介している。
- ◎オーストラリアに姉妹校があり、短期研修の実施は中止したが、3か月ターム留学は実施の方向で進めている。
- ◎1. 入国に際する生徒へのワクチン接種条件 2. 帰国に際する待機期間がある程度緩和されることが実施条件となる。
- ◎海外修学旅行は本校の教育目標として重要な位置づけにあるため、安心安全が担保されれば、すぐに実施したい。
- ◎安心安全の担保、生徒、保護者の理解と承諾、現地の医療体制が実施の大前提。
- ◎現地での感染・発症があった場合の対応と帰国方法への不安。
- ◎国際コースは海外研修を必修科目として設定し、重視しているところもあり、少人数単位での実施を検討している。
- ◎現在、旅行手続きの複雑さと時間、また帰国後の自宅待機期間等、旅行前後の期間における教育活動や学校行事に支障が出る心配がある。
- ◎ホームステイの不安と課題
- ◎ニュージーランドの高校と姉妹校提携を結んでいる。令和4年度から、留学を再開したい。
- ◎現在、他団体主催の海外研修について、生徒に紹介しているが、学校主催は未定である。
- ◎実施6か月前の時点でレベル2以上の場合は、延期もしくは中止とするか、国内修学旅行に変更することを学校内のガイドラインとしている。レベル1に緩和された場合も、訪問国・地域の入国制限、行動制限、帰国時の水際対策等を十分確認した上で実施する。

以上